

Title	編集後記
Sub Title	
Author	池田, 真朗(Ikeda, Masao)
Publisher	慶應義塾大学大学院法学研究科
Publication year	1997
Jtitle	法學政治學論究 : 法律・政治・社会 (Hogaku seijigaku ronkyu : Journal of law and political studies). No.32 (1997. 3) ,p.602- 602
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10086101-0000032-0602

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

郵送の場合 〒一〇八 東京都港区三田二一―一五―四五

慶應義塾大学教務部法学部係

なお、郵送で投稿規程を請求する場合は、封書で表面左下に

「論究投稿規程請求」と記入し、返信用封筒（長形三号を使用。

宛先記入の上、切手九〇円を貼付）を同封すること。

十一 問合せ先（封書に限る）

〒一〇八 東京都港区三田二一―一五―四五

慶應義塾大学法学部研究室内

池田真朗

表面左下に「論究問合せ」と記入し、返信用封筒（宛先記入

の上、切手八〇円を貼付）を同封すること。

〔編集後記〕

今号の応募状況は、論文提出が二二件で、審査の結果、条件付き合格による再審査を含む最終合格が一七件となった。

最終合格件数は前号と同数である。大部の号が続くことは慶賀すべきことであるが、このところ、準備不足のままいったん投稿して、その後取り下げというケースも散見される。研究者を指摘する者にとって、論文は決して数が問題なのではない。そして、厳格な審査を経るので個々の論文の水準は確保されているとはいえ、軽率に発表した論文が後でその人の研究展開上の瑕疵となることもないわけではない。納得の行くまで資料を検索し、推敲を重ね、指導教授からも十分なアドバイスを得た上で投稿していただきたい。応募者の皆さんのさらにレベルの高い研鑽を期待するものである。

（池田真朗・記）